

難民の友に、難民と共に

NPO 法人 アルペなんみんセンター

年次報告書

2024

ANNUAL REPORT



迫害から逃れて来日した難民に「シェルター」「学ぶ機会」「交流の場」を提供しています

2024 年度 年次報告書

(2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日)

はじめに

世界の難民は、1 億 2000 万人に達しました。過去最大、12 年連続の増加となっています（国連難民高等弁務官事務所 UNHCR 2024/5）。

2024 年、日本の難民認定申請者数は 12,373 人、認定した者 190 人（審査請求で認定された 14 人を含む）。国籍の内訳は、アフガニスタン 102 人、ミャンマー 36 人、イエメン 18 人、パレスチナ 8 人、中国 5 人、エリトリア 4 人、イラン・ウガンダ・カメルーンが各 3 人、カンボジア 2 人、イラク・エチオピア・コンゴ民主共和国・バングラデシュ・マリ・ロシアが各 1 人となっています。

補完的保護対象者認定申請者数は 1,273 人、認定した者は 45 人。国籍の内訳は、シリア 16 人、ミャンマー 13 人、スーダン 11 人、ウクライナ 5 人となっています。

難民及び補完的保護対象者のいずれにも認定しなかったものの人道的な配慮を理由に在留を認めた者は、335 人。国籍の内訳は、ミャンマー 262 人、カメルーン 13 人、コンゴ民主共和国・リベリア・無国籍が各 3 人、アフガニスタン・イラン・スーダン・ロシアが各 2 人、エジプト・英国が各 1 人となっています。

一次審査の平均処理期間は約 22.3 ヶ月、審査請求の平均処理期間は約 12.6 ヶ月となっています。（法務省出入国在留管理庁 2025/3/14）。

このような状況の中、生活に困窮する難民認定申請者を受け入れる難民シェルターとして設立された当センターでは、これまでに 30 か国 93 人を受け入れてきました。2024 年度は、新規 11 人を含む 30 人に、延べ 13,560 泊の住居、食事を提供し、生活支援、医療支援、学ぶ機会、交流等の支援を行いました。

難民や避難民に寄り添う取り組みは地域社会に受け入れられ、様々な交流を通じた相互理解が進んでいます。異なる背景や属性を持つ人々と地域住民が共に喜び支え合い、共生社会を築く取り組みが進んでいます。鎌倉市内の様々なステークホルダーが参加する「鎌倉なんみん共生フォーラム」とも連携し、難民を歓迎する社会づくりに取り組んでいます。

自治体との連携や協力も拡大しており、2023 年 5 月には神奈川県やかながわ国際交流財団とウクライナ避難民に関する連携協定が締結しました。UNHCR が自治体との連携を強化するグローバルキャンペーン「難民を支える自治体ネットワーク」に 2023 年 6 月に鎌倉市、2024 年 5 月に神奈川県が署名しました。

国際的な難民支援ネットワークにも参加し、定期的に現状を把握して意見交換を行っています。2021 年のミャンマー国軍クーデター以降、多くの避難民や難民が発生しているため、今後の支援方法についてネットワークを通じて検討しています。

1 難民への定住支援事業

(1) 緊急シェルターの提供

2024 年度実績	実人数 30 人	新規入所者	11 人	延べ滞在日数	13,560 泊
2023 年度実績	実人数 47 人	新規入所者	32 人	延べ滞在日数	10,749 泊
2022 年度実績	実人数 32 人	新規入所者	21 人	延べ滞在日数	7,698 泊
2021 年度実績	実人数 20 人	新規入所者	13 人	延べ滞在日数	3,519 泊
2020 年度実績	実人数 15 人	新規入所者	15 人	延べ滞在日数	1,857 泊

＊ 2020 年度からの新規入所者数 累計 93 人 (30 カ国)

＊ 2024 年度 実人数 30 人

2020 年から継続 3 人、2021 年度から継続 2 人、2022 年度から継続 1 人

2023 年から継続 13 人

＊ 平均滞在日数 452 日間 (2020 年からの継続含む)

＊ 最長滞在日数 1,580 日間 (2020 年からの継続含む)

難民が安全で安心できる住居の提供

施設内には 30 の個室があります。入居者の通信手段を確保するために、施設内では常時 Wi-Fi 接続が可能です。

食事の提供

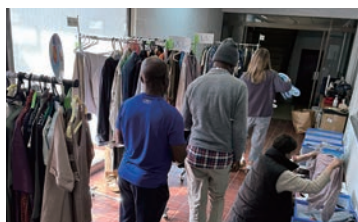
1 日 3 食の温かい食事を提供しました。調理担当スタッフを中心に、多くの調理ボランティアの支援を受けています。食材の提供には、支援者や近隣の農家、青果店、パン屋、フードバンク、地域の団体、鎌倉市や鎌倉市社会福祉協議会からも支援を受けています。

衣料・日用品

地域の市民グループや個人から中古・新品の衣料や日用品の寄贈を受けています。寄贈品の整理や配布は地域のボランティアの支援を受けています。



地域の農家から野菜の支援をいただきました



衣類・日用品の提供

(2) 医療の提供

入居者の多くは、在留資格の関係で健康保険に加入できず、医療費は全額自己負担となっています。必要に応じて、地域の医療機関での診療にスタッフが同行するなどのサポートを提供しています。医療費に関しては、当センターに寄せられる寄付や無料低額診療制度も活用しています。

今年度は、2 組 3 人の出産ケースがあり、鎌倉市の入院助産制度を活用させていただきました。

医師の往診、医療相談会

週に 1 回、地元の医師がボランティアで往診してくださっています。さらに、月に 1 回、2 名の医師と 1 名の鍼灸師による医療相談やマッサージを実施しています。



5 年間で 5 人の新しい命が誕生しました

(3) 日本語学習支援

将来的な自立のため、入居者のニーズに応じて地域の日本語教室の支援を受けています。

(4) アルペファーム（農作業）

敷地内の畑で、毎週土曜日に農作業を行いました。近隣住民が中心となり、入居者と交流しながら野菜を育てました。



毎週土曜日のアルペファームの様子

(5) 地域のイベントへの参加

- ・ 2024/05 第 56 回慈善茶会（鎌倉青年会議所主催）
- ・ 2024/05 みんなで鎌倉平和パレード
- ・ 2024/05 鎌人いち場
- ・ 2024/07 七夕飾りづくり（鎌倉社協）
- ・ 2024/11 第 66 回鎌倉市民合唱祭
- ・ 2024/12 鎌倉福祉まつり
- ・ 2025/01 ベルカント唱法研究会コンサート（大和市）



2024/05 鎌人いち場



2024/05 第 56 回慈善茶会（鎌倉青年会議所主催）



2025/01 ベルカント唱法研究会コンサート（大和市）

(6) 近隣の居場所プログラム

月に 1 回開催される近隣の地域食堂「ふらっとカフェ in 二階堂」「地域食堂ゆきのした」に参加しました。「地域食堂ゆきのした」では、入居者が母国のカレーの提供、母国の歌を歌うなど、参加者と交流しました。



地域食堂ゆきのした



ふらっとカフェ in 二階堂での書き初め

(7) ウクライナ避難民支援

ウクライナでロシアによる軍事行動が2022年2月24日に開始され、多くの国内避難民や難民が発生しました。この影響で、日本にも2,606人(2023年3月末時点)が入国しています。アルペなんみんセンターは、公営住宅につながるまでの間、11名の避難民を受け入れました。

神奈川県在住のウクライナ避難民の方々の相談支援、病院の同行支援などを行っています。

神奈川県、かながわ国際交流財団と ウクライナ避難民支援に関する連携協定締結

2023年5月、神奈川県と公益財団法人かながわ国際交流財団と連携協定を結び、神奈川県在住のウクライナ避難民の支援を県内の自治体と協働して行っています。

公益財団法人かながわ国際交流財団

「かながわ民際協力基金」助成事業

「ウクライナ避難民のための相談支援と交流事業～多文化共生社会にむけて～」の実施

助成を受け、ウクライナ避難民への支援事業等を実施しました。

- ・ 相談、通訳事業
- ・ 行政機関、病院等への同行支援



2024/4 ウクライナ写真展 (JICA 横浜)



2025/3 ウクライナ展への写真パネルの提供
(JR 横浜駅東口新都心プラザ 主催：神奈川県)

(8) アルペ小金井センター閉鎖

2023年4月から東京小金井市で試行してきたアルペ小金井センターの存続が困難となり、2024年9月末で閉鎖となりました。カトリック女子修道会「聖霊会」のご協力のもとで、新たな試みとして2つ目のシェルターを開設し、1年3か月の間に難民申請中の5カ国7名の女性と子どもを受け入れ、衣医食住・定住支援を提供してきました。

聖霊会の皆様、大勢のボランティア、支援者、地域の皆様のご協力ご支援をいただき、共同生活を営みながら、それぞれに成長し、沢山の喜びがありました。

入居していた5人はすでに自立し、新しい場で生活しながら、今でも支え合っています。

残りの2名はスタッフと共に神奈川県鎌倉市にあるアルペなんみんセンターに転居し、引き続き日本での自立に向けた歩みを続けています。

諸事情により短期間で閉鎖することとなりましたが、聖霊会をはじめ、応援してくださった皆様に心より感謝申し上げます。



アルペ小金井センターの
あゆみ

2 情報発信事業

(1) 国際理解教育事業（なんみんセミナー、オープンデー）

なんみんセミナー（オンラインを含む）全国の小中高校や大学、そして近隣の施設で実施しました。オンラインを含め、多様な形式で開催しました。また、オープンデーも開催し、施設見学や難民との交流の機会を提供しました。

2024年度	なんみんセミナー	65回開催	4,085人	参加
	オープンデー	10回開催	67人	参加
	合 計	75回開催	4,152人	参加
2023年度	なんみんセミナー	45回開催	4,151人	参加
	オープンデー	47回開催	442人	参加
	合 計	92回開催	4,593人	参加
2022年度	なんみんセミナー	55回開催	3,225人	参加
	オープンデー	17回開催	230人	参加
	合 計	72回開催	3,455人	参加
2021年度	なんみんセミナー	20回開催	2,461人	参加
	オープンデー	3回開催	36人	参加
	合 計	23回開催	2,497人	参加



2024/9 神奈川県社会福祉士会スタディツアー



オープンデーの様子



2024/9 鎌倉市内の学童保育



2025/2 鎌倉市内の高校

(2) ニュースレター、ホームページ、SNS 等での情報発信

1) ニュースレター「アルペ通信」

当団体の活動を広く伝えるため、ニュースレター「アルペ通信(A4 4 ページ)」を発行し、配布しました。

第8号 (2024 年 7 月、12,300 部)

第9号 (2024 年 12 月、12,000 部)



2) ニュースレター「アルペだより」

当団体の日常の活動を広く伝えるため、ニュースレター「アルペだより(A4 1 ページ)」を発行しました。

No. 12 (2024 年 5 月) No. 13 (2024 年 8 月)

No. 14 (2024 年 12 月)



3) ホームページ

当団体のホームページにて、活動内容を詳細に紹介しました。また、定期的にイベントの募集や報告を掲載し、随時更新しています。



4) インスタグラム

難民の状況等の情報を発信しました。



5) SNS 配信、YouTube チャンネル

当団体の最新情報を発信するために、Facebook ページにて活動のアップデートを定期的に共有しました。同時に、YouTube チャンネル「アルペチャンネル」を通じて、動画形式での活動内容を広く配信しました。

6) パンフレット 活動紹介パンフレットをリニューアルし、47,000 部発行しました。

7) 新聞広告 カトリック新聞に広告を掲載しました。

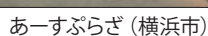


世界難民の日のイベントを東京と神奈川で行いました。

■東京 6月20日(木) 小金井宮地楽器ホール(東京都小金井市)



かながわ県民センター（横浜市）



第56回 慈善茶会（公益財団法人鎌倉青年会議所主催）への参加

2022年度から、鎌倉大仏殿高德院で開催されている慈善茶会に参加させていただき、3年連続で寄付先を選んでいただきました。



日本の食を難民の心に届ける会との交流会

全国のラーメンファンから聖地と呼ばれている名店「飯田商店」が、2022年11月から出張出店いただいています。今年度も5月、11月に交流事業を開催いたしました。

日本の食を難民の心に届ける会

主宰店

飯田商店（神奈川県湯河原町）

会員店

Japanese Soba Noodles 蕎（東京都渋谷区）

中華そば四つ葉（埼玉県川島町）

とものもと（千葉県船橋市）

中村麵三郎商店（神奈川県相模原市）

麵ふじさき（東京都江東区）

雪ぐに（横浜市区）

Ramen Feel（東京都青梅市）



BAT（ブリティッシュ・アメリカン・タバコ）ジャパンとの交流会

BAT（ブリティッシュ・アメリカン・タバコ）ジャパンは社会貢献プロジェクト「IPPUKUプログラム」を展開し、地域社会の一員として、多様で持続的な地域社会の発展に貢献することを目指しています。交流会はその一環として開催されています。

今年で4回目の開催になります。アルペなんみんセンターの入居者、神奈川県内にお住まいのウクライナ避難民、BAT ジャパンの社員の方々と楽しい一時を過ごしました。



(7) メディア掲載

- ・心込めた一杯で難民支援 2024/5/2 タウンニュース
- ・難民申請中の外国人、ラーメンで励ます 県内店主ら鎌倉の支援施設で提供 2024/6/14 神奈川新聞
- ・人気ラーメン店が難民支援で心を一つに 6月20日は「世界難民の日」 2024/6/19 朝日小学生新聞
- ・連載 カリハウメン 2024/11/12-13 毎日新聞デジタル
- ・アルペなんみんセンターが施設見学会を開催！ 2025/2/18 湘南人
- ・神奈川県民ホールで「ウクライナ国立オデーサ歌劇場オーケストラ」公演
「写真と映像で見るウクライナ」も 2025/3/2 ヨコハマ経済新聞

3 調査・研究事業

(1) 「鎌倉なんみん共生フォーラム」の取り組み

地域における難民の受け入れと支援に関する連携をはかるため、市民グループ、社会福祉協議会、社会福祉施設、市議会議員、メディア関係者などが集い、学習会（2回）を行いました。



(2) 地域通貨「クルッポ」を活用した地域とのつながり

鎌倉市が運営する地域通貨「クルッポ」の加盟スポットとして、クルッポを使って体験できるプログラムを提供しました。また、インスタグラムへの感想や質問を送った方にクルッポを差し上げるなど、双方向のコミュニケーション手段として活用しました。



(3) 国内外の難民支援団体とのネットワーク

■ NPO 法人 移住者と連帯する全国ネットワーク

国内の難民移民支援ネットワーク団体「移住者と連帯する全国ネットワーク」に参加し、日本における難民の諸問題に関する情報収集および関係団体との連携強化に努めました。

■ NPO 法人 なんみんフォーラム

～収容代替措置（ATD）の受け皿としての役割

国内の難民支援ネットワーク団体「なんみんフォーラム」に参加し、日本における難民の諸問題に関する情報収集および関係団体との連携強化に努めました。

また、法務省、日本弁護士連合会、なんみんフォーラムが2012年から実施している「日本の空港において難民としての庇護を求めた者に係る住居の確保等に関する事業」の受け皿としての役割が広がってきました。

■ JCAP Migrants and Refugees Network への参加

JCAP Migrants and Refugees Network（アジア地域の移民難民支援団体のネットワーク）のオンライン会議に定期的に参加し、情報交換、共有を行いました。また、以下の国際会議にスタッフを派遣しました。

2025年 3月「ネットワーク会議」 韓国

ミャンマー難民の現地視察（タイ・メーソート）

2021年2月にタイで国軍によるクーデターが発生し、その結果、290万人以上の国内避難民が生まれ、1800万人以上が人道支援を必要とする状況となりました。また、120万人以上が隣国へ逃れ、難民として避難生活を送っています（UNHCR、2024年4月）。

このような状況を受け、JCAP ネットワークはミャンマー支援を協働で行うことを決定し、2024年9月にタイのメーソートでミャンマー難民の現地視察を行いました。視察後も、ネットワーク内の諸団体と情報を共有しながら、どのような支援ができるかを継続的に検討していく予定です。この取り組みは、ミャンマー難民に対する具体的な支援策を策定し、実行するための重要な一歩となります。



日本の各空港に貼られている
難民申請に関する情報ポスター



韓国でのネットワーク会議



ミャンマー難民キャンプ 2024年9月タイ・メーソート

2024 年度 活動計算書

2024 年 4 月 1 日～
2025 年 3 月 31 日

(単位:円)

科目名	2023年度 決算	2024年度 予算	2024年度 決算
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	200,000	200,000	180,000
賛助会員受取会費	290,000	290,000	160,000
	490,000	490,000	340,000
2 受取寄付金			
受取寄付金	46,761,428	47,000,000	37,942,240
切手等受贈益	201,226	200,000	186,601
施設等受入評価益	8,400,000	8,400,000	7,200,000
ボランティア受入評価益	4,977,409	5,040,000	5,378,629
	60,340,063	60,640,000	50,707,470
3 受取助成金等			
受取国庫助成金	0	0	0
受取助成金	9,652,606	500,000	500,000
	9,652,606	500,000	500,000
4 その他収益			
受取利息	1,862	2,000	21,751
雑収益	344	0	0
	2,206	2,000	21,751
経常収益計	70,484,875	61,632,000	51,569,221
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	11,001,300	11,350,000	9,245,942
法定福利費	1,241,904	1,700,000	1,304,314
福利厚生費	24,864	60,000	17,726
ボランティア評価費用	4,977,409	5,040,000	5,378,629
人件費計	17,245,477	18,150,000	15,946,611
(2) その他経費			
支援費	4,989,725	5,600,000	5,760,131
謝金	929,438	1,190,000	791,390
印刷製本費	1,971,806	2,100,000	646,274
会議費	36,996	100,000	14,796
旅費交通費	942,155	1,400,000	1,123,844
通信運搬費	1,245,765	1,280,000	913,083
消耗品費	2,547,816	2,610,000	1,900,468
業務委託費	506,000	400,000	396,000
広告宣伝費	901,692	1,000,000	752,004
新聞図書費	8,901	20,000	0
賃借料	330,496	400,000	353,455
保険料	286,470	770,000	548,281
研修費	80,000	100,000	48,100
水道光熱費	3,978,025	4,400,000	4,042,119
減価償却費	268,613	300,000	333,665
租税公課	0	20,000	0
施設維持管理費	4,945,753	3,180,000	3,435,152
支払手数料	36,899	40,000	26,494
施設等評価費用	7,800,000	7,800,000	6,600,000
雑費	11,304	0	0
大規模修繕引当金繰入額			3,000,000
その他経費計	31,817,854	32,710,000	30,685,256
事業費計	49,063,331	50,860,000	46,631,867
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	4,064,600	4,750,000	4,861,349
法定福利費	648,941	600,000	617,832
福利厚生費	5,282	20,000	10,282
人件費計	4,718,823	5,370,000	5,489,463

(2) その他経費			
会議費	12,228	20,000	0
旅費交通費	190,172	200,000	143,996
通信運搬費	206,030	200,000	199,516
消耗品費	119,492	50,000	93,121
業務委託費	132,000	140,000	859,045
賃借料	158,400	160,000	158,400
保険料	108,120	280,000	267,560
諸会費	45,123	50,000	24,000
慶弔費	55,000	50,000	16,500
減価償却費	16,608	20,000	0
支払手数料	470,831	490,000	559,879
施設等評価費用	600,000	600,000	600,000
施設補償積立金		3,000,000	0
その他経費計	2,114,004	5,260,000	2,922,017
管理費計	6,832,827	10,630,000	8,411,480
経常費用計	55,896,158	61,490,000	55,043,347
当期経常増減額	14,588,717	142,000	△ 3,474,126
Ⅲ 経常外収益			
1. 固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
Ⅳ 経常外費用			
1. 固定資産除却損	0	0	36,708
2. 雑損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	36,708
当期正味財産増減額	14,588,717	142,000	△ 3,510,834
前期繰越正味財産額	35,855,988	50,444,705	50,444,705
次期繰越正味財産額	50,444,705	50,586,705	46,933,871

(単位：円)

2024 年度 貸借対照表

2025 年 3 月 31 日現在

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	49,795,330		
貯蔵品	538,143		
前払金	7,763		
前払費用	44,082		
未収金	249,000		
預け金	146,568		
仮払金	5,000		
流動資産合計		50,785,886	
2 固定資産			
工具器具備品	727,006		
固定資産合計		727,006	
資産合計			51,512,892
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,454,181		
前受金	5,000		
預り金	119,840		
流動負債合計		1,579,021	
2 固定負債			
大規模修繕引当金	3,000,000		
固定負債合計		3,000,000	
負債合計			4,579,021
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		50,444,705	
当期正味財産増減額		△ 3,510,834	
正味財産合計			46,933,871
負債及び正味財産合計			51,512,892

2024 年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針 財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準(2010年7月20日、2017年12月12日一部最終改正、NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法 固定資産は、定率法で償却をしています。
- (2) 引当金の計上基準 当期より、施設の大規模修繕に備え「大規模修繕引当金」を計上しました。当該引当金は、将来の施設設備の計画的な修繕に備えるものであり、見積可能な費用に基づき算定しています。
- (3) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理 施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。また、計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。
- (4) ボランティアによる役務の提供 ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

2事業費の内訳

科 目		定住支援事業	情報発信事業	調査研究事業	合計
(1) 人件費	給料手当	7,966,630	786,712	492,600	9,245,942
	法定福利費	1,300,397	2,430	1,487	1,304,314
	福利厚生費	17,726	0	0	17,726
	ボランティア評価費用	5,378,629	0	0	5,378,629
	人件費計	14,663,382	789,142	494,087	15,946,611
(2) その他経費	支援費	5,760,131	0	0	5,760,131
	謝金	791,390	0	0	791,390
	印刷製本費	0	646,274	0	646,274
	会議費	0	14,796	0	14,796
	旅費交通費	516,328	6,542	600,974	1,123,844
	通信運搬費	107,357	805,726	0	913,083
	消耗品費	1,789,854	110,614	0	1,900,468
	業務委託費	396,000	0	0	396,000
	広告宣伝費	0	752,004	0	752,004
	賃借料	44,855	308,600	0	353,455
	保険料	542,231	0	6,050	548,281
	研修費	0	48,100	0	48,100
	水道光熱費	4,042,119	0	0	4,042,119
	減価償却費	333,665	0	0	333,665
	雑費	0	0	0	0
	施設維持管理費	3,435,152	0	0	3,435,152
	支払手数料	23,239	3,200	55	26,494
	施設等評価費用	6,600,000	0	0	6,600,000
	大規模修繕引当金繰入額	3,000,000	0	0	3,000,000
	その他経費計	27,382,321	2,695,856	607,079	30,685,256
経常費用計		42,045,703	3,484,998	1,101,166	46,631,867

* 支援費内訳

費目	金額
生活支援費	777,768
食材費	2,798,427
医療費	364,526
旅費交通費	585,209
通信費	139,650
教育費	448,411
その他	646,140
合計	5,760,131

3 施設別費用割合

	共通	鎌倉	小金井	合計
経常費用	20,202,284	29,593,426	3,789,282	53,584,992
割合	32.0%	61.0%	7.0%	100.0%

4 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設名	金額	算定方法
イエズス会 日本殉教者修道院	6,000,000	50 万円× 12 月換算
聖霊会 小金井修道院	1,200,000	20 万円× 6 月換算
計	7,200,000	

5 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務(定住支援事業)の提供の内訳

内容(定住支援事業)				算 定 方 法
鎌倉	1,372 個人・団体	延べ 4,317 時間	5,016,354	単価は神奈川県最低賃金(1,162 円)によって算定しています。
小金井	76 個人・団体	延べ 311.5 時間	362,275	単価は東京都最低賃金(1,163 円)によって算定しています。
合計			5,378,629	

6 使途等が制約された寄付・助成金等の内訳

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
助成金 かながわ民際協力基金(ウクライナ支援)	0	500,000	429,927	70,073	かながわ民際協力基金(2024/10/12 2025/9/30)決定額は 1,000,000 円
合 計	0	500,000	429,927	70,073	

7 固定資産の増減内訳 固定資産の増減は以下の通りです。

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 工具器具備品	1,339,164	660,000	36,708	1,962,456	△ 1,235,450	727,006
合 計	1,339,164	660,000	36,708	1,962,456	△ 1,235,450	727,006

8 引当金の増減内訳 引当金の増減内訳増減は以下の通りです。

内 容		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
引当金	大規模修繕引当金	0	3,000,000	0	3,000,000	
合 計		0	3,000,000	0	3,000,000	

9 施設維持管理費について 当期は、臨時に居室エアコン（16 台）の更新およびアスベスト検査費用を支出しました。

10 借入金の増減内訳 借入金はありません。

11 役員及びその近親者との取引の内容 役員及びその近親者との取引はありません。

12 その他：中小企業退職金共済について 職員の福利厚生の実施及び退職金準備のため中小企業退職金共済（中退共）に加入しています。当期における掛金支払額は 758,000 円（前期：323,240 円）であり、保険料として費用処理しています。なお、共済契約に基づく積立額は、中退共により管理され当該職員に直接支給されるため、当法人の貸借対照表には計上されていません。

2024 年度
財産目録

2025 年 3 月 31 日
現在

科 目				金 額	
Ⅰ 資産の部	1 流動資産	現金	手元現金	261,560	
		預金	PayPay 銀行（普通預金）	ビジネス営業部（鎌倉）	17,582,184
				ビジネス営業部（寄付口）	17,518,647
				ビジネス営業部（施設整備口）	1,163,305
			ゆうちょ銀行	通常貯金	1,544,184
				郵便振替口座	1,258,275
			PayPay 銀行（定期預金）	ビジネス営業部	0
				ビジネス営業部（寄付口）	10,007,784
		かながわ信用金庫	逗子支店	459,391	
		貯蔵品	切手	538,143	
		前払金	Suica（IC カード）	7,763	
		前払費用	労災保険料	44,082	
		未収金	クレジット寄付金、中退共掛金	249,000	
		預け金	IC カードデポジット（Suica）	1,500	
			電話料金（NTT テレホンカード）	145,068	
		仮払金	職員旅費	5,000	
		流動資産合計			50,785,886
	2 固定資産	有形固定資産	パソコン6台	90,801	
			液晶テレビ	23,951	
			ポリッシャー	98,826	
			冷蔵庫	68,492	
			ガスコンベクション	444,936	
		固定資産合計			727,006
	資産合計			51,512,892	
Ⅱ 資産の部	1 流動負債	未払金	3 月分給与 / 謝金 / 社会保険料等	544,917	
			3 月分業者支払	909,264	
		前受金	2025 年度分賛助会費	5,000	
		預り金	3 月分源泉所得税 / 住民税	119,840	
		流動負債合計			1,579,02
	2 固定負債	大規模修繕引当金			3,000,000
		固定負債合計			3,000,000
	負債合計			4,579,021	
正味財産				46,933,871	

監 査 報 告 書

2025 年 5 月 20 日

NPO 法人アルベなんみんセンター 理事長 榎川 勝也 様

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、NPO 法人アルベなんみんセンターの 2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査を行った。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、重要な決裁書類等を閲覧し、必要と認める場合には質問を行った。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び 2024 年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、同法人の 2025 年 3 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認める。以上

監事 赤瀬川 由乃

難民の友に、難民と共に

迫害から逃れて来日した難民に「シェルター」「学ぶ機会」「交流の場」を提供しています。



寄付のお願い

みなさまからのご支援のおかげで
確実に成果が出てきています。

不安定な立場に置かれ、日本社会で孤立してしまう難民申請者がいます。頂いたご寄付は、迫害から逃れた来日した難民が地域社会とつながり、日本社会で自立して生活するための支援に使わせていただきます。

インターネットからでも、
約3分でご寄付できます

QRコードを読み込んで、金額をお選びいただくだけでクレジットカードから簡単にご寄付ができます。



活動内容やご寄付について、お気軽にご連絡ください。

NPO法人 アルペなんみんセンター

〒248-0001 神奈川県鎌倉市十二所 80 イエズス会日本殉教者修道院

Tel 0467-55-5422 Fax 0467-55-5423

E-mail info@arrupe-refugee.jp Web <https://arrupe-refugee.jp>